



ゴロスケ報々



ゴケツ
mv.k

●ボランティア保険について●

事務局からのお知らせ

これまで友の会では、社団法人神奈川青少年協会の神奈川県ボランティア事故共済に加入してまいりましたが、昨年度で同事業が廃止となりました。

そのため、今年度より社会福祉法人全国社会福祉協議会のボランティア活動保険（Bプラン）に加入することになりました。

加入保険の変更に伴い、これまでと若干異なりますのでお知らせいたします。

1. 会費の振り込みをお願いする際、保険加入についてお聞きしておりますが、今年度は全員加入といたします。
2. 手続き上友の会として加入するため、保険の適用範囲は友の会の活動に限られます。
3. チェーンソーを使った森林ボランティア活動中の事故は補償対象外となります。

（チェーンソーに関しては別の保険で担保します。）

詳しい補償内容などは <http://www.fukushihoken.co.jp/> にてご確認ください。よろしくお願いいたします。

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

事務局からのお知らせ

●3月定例会報告●

3月定例会報告

2011年3月21日(月・祝) 11:30~12:30

出席者 平野(議長)・関根(記録)・青木・落合・高橋・中里・村松・山口・渡辺R
議事

1. 各行事ならびに、各PJの活動報告・予定を確認いたしました。
2. ゴロ報の「ふむふむ」については、23年度4月号から各PJ持ち回りとなりました。
 - ・4月号 ⇒ 鳥のくらし発見隊 6月号 ⇒ 自然とあそぼう
 - ・8月号以降は、5月の定例会で担当PJを決める。

次回の定例会5月15日13:00~

・各PJ活動状況他(定例会はどなたも参加できます。)

●3月理事会報告●

日時 2011年3月21日(月・祝) 9:30~11:30

出席者 山口(議長)、中里、青木、落合、平野、村松、関根(記録)、渡辺R
(欠席:佐野、秋元、漆原、小杉、篠原、志益、藤田、中塚)

議事

1 定期総会準備

- ・総会資料(報告・決算・計画・予算)等を確認しました。
- ・ボランティア事故共済(県青少年協会)の廃止に伴い社協保険への加入及び補償対象とならないチェーンソー作業の傷害保険の別途加入について審議しました。
- ・保険変更に伴い単年度赤字予算となるため、森林ボランティア作業の保険について今後数年内に対応策を検討していくことを確認しました。

2 年度内及び新年度活動における震災対応について

- ・市の指導はないが一部行事・PJ活動が中止となったこと、当面活動は原則実施可とするが状況に応じて各活動ごとにレンジャーの指示に従うことが確認されました。

3 横浜自然観察の森保全管理計画について

- ・2000~2005年に協働で策定した園内の保全管理計画について、2011年度は計画の内容を再度共有する活動を行い、2012年度以降に評価・見直しを検討していくことが確認されました。

4 安全管理について

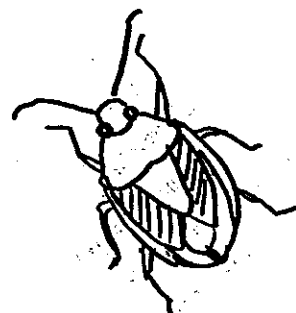
- ・消防訓練が3月1日に実施されたこと、次年度は友の会行事にあわせて実施予定であることが報告されました。
- ・地震に伴う森の状況(危険箇所等)はHP・掲示等を必ず確認し、園内活動時はトランシーバー・救急セットを携行、非常時はセンター前へ参集、徒歩帰宅ルートを各自確認のこと。
- ・園内停電時は断水するためトイレ(野外含む)使用不可の旨周知すること。

<次回理事会開催のお知らせ>

日時 5月15日(日) 9:30~12:00

場所 自然観察センター研修室

- 議題
- 1 理事役割分担
 - 2 センター改修工事について
 - 3 利用推進会議について
 - 4 安全管理・震災対応について
 - 5 その他



●第23回定期総会報告●

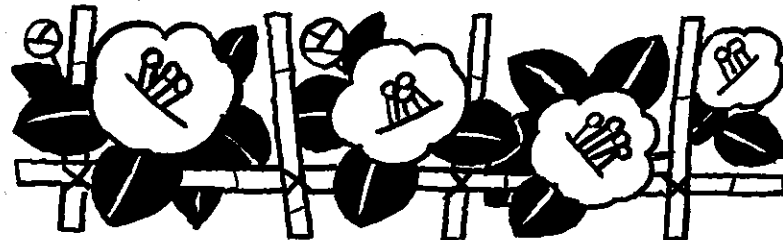
日時 2011年4月3日(日) 10:00~11:40
場所 自然観察センター研修室 出席者 13名
議案 2010年度事業報告・決算報告、2011年度事業計画・予算、理事選任

第23回定期総会が開催され、議案はいずれも原案どおり承認されました。

詳しくは総会資料をセンター和室に備えてありますのでご活用ください。

(同封の行事計画・PJ計画の一覧表もご活用ください。ただし、震災停電・改修工事遅延等で急遽変更となる場合がありますのでご注意ください。)

- ・2010年度報告(人数は参加延べ人数)
 - 友の会行事 112回(一般701人・会員1,135人)
 - PJ活動 332回(2,046人)
 - 調査・協働・センター支援 139回(一般640人・ボランティア323人)
 - ネットワーク活動 10回(10人)
 - 会議・事務局等 73回(341人)
- ・2011年度計画
 - 行事計画(協働・支援・ネットワーク・会議等含む) 29項目・169回
 - PJ活動計画(事務局活動含む) 42項目・437回
- ・理事選任
 - PJ枠: 秋元・落合・志釜・関根・中里・中塚・平野・村松
 - 事務局枠: 青木・漆原・小杉・佐野・藤田 会員公募枠: 山口・篠原
- ・センターより
 - 異動者紹介、センター改修の震災に伴うスケジュール変更の可能性、市の震災義援金募金箱の設置、行事予定一覧(要訂正)などについて説明がありました。
- ・その他
 - 20周年記念バンダナの活用(震災義援金)について確認しました。



●ゴロ報の発送をしませんか?●

ゴロ報の会員への発送は、プロジェクトや事務局に所属する会員が中心になって行なっています。

「友の会の運営に興味があるけど、どうやって入れればいいかわからない」

「何か手伝いたい」

「事務仕事なら任せろ」

という方、ぜひ一緒にやりませんか?

二ヶ月に一度、「森を守るボランティア体験」の日の午後にやっています。気軽にセンター研修室へどうぞ。

次回の発送作業(担当:事務局)

日時: 6/19(日) 13:00~(1~2時間程度)

場所: 自然観察センター研修室

友の会活動報告

●鳥のくらし発見隊●

“いきもののにぎわい”を確かめに、もりに来ませんか？

★3月13日 見聞きした鳥（△は声のみ）★
トビ、ノスリ、コジュケイム、コゲラ、ヒヨドリ、
モズ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、
エナガ、シジュウカラ、メジロ、アオジ、
カワラヒワ△、イカル、シメ、ウソ△、スズメ、
ハシブトガラス、ハシボソガラス
天候 曇り 参加者 10名 スタッフ 8名

次回のお知らせ

日時：6/12（日）

9：00～13：00

受付：直接観察センター前に集合
どなたでも

★双眼鏡の貸し出しあります

東日本大地震で被災された方々にこころよりお見舞い申し上げます。
暖かい一日でした。ウグイスのさえずりも、森のあちこちで聞こえるようになりました。
シジュウカラもメジロもさえずっています。いやー、春なんですね。
朝、「ウソがいたよ」との情報が寄せられたので、まずはヘイケの池へ。ところがウソがないかわりに1羽のイカルが一生懸命にヌルデの実をパチパチいわせながら食べていました。イカルは観察の森では年によって見られたり、見られなかったり。ノスリは2度姿を見せてくれました。
特に急降下する姿に一同「かっこいい！」春の訪れとともに、冬鳥は少しずつ旅立っていくんでしょね。



ふむふむ

春まっさかり。森のあちこちからウグイスのさえずりが聞こえてきます。ウグイスがそれまでの「チャッ、チャッ」という地鳴きから「ホーホケキョ」とさえずり始めるのが2月の終わりから3月の初め頃。まさに春を告げる鳥といえるでしょう。

ところで春を告げる花というと梅の花があげられます。梅の枝にとまるウグイスの姿は、花札をはじめ多くの絵にも描かれています。まさに「梅にウグイス」。しかし、しかしですよ。バードウォッチャーに言わせると「梅の木にウグイスは来ない」ということになります。そして、梅の花によく来るのはメジロなのです。メジロは緑色（うぐいす餅の色）をした小さな鳥で、花の蜜を吸いに梅の花によくやってきます。かたやウグイスはやヤブを好み、あまり見やすいところには出てきません。（梅の枝にとまるウグイスを見たらラッキー！）ですから「梅にウグイス」は「梅にメジロ」の間違いだ、と主張する人も多いのです。

でも、ウグイスも梅の花も、間違いなく「春を告げる鳥と花」といえるでしょう。その2つの取り合わせで「梅にウグイス」・・・で納得いただけるでしょうか。

友の会行事のお知らせ

今後、余震、計画停電等の影響により開催時期等変更が生じる可能性があります。

事前に観察センターまでお問い合わせください。

●トンボ池の整備●

22年度は、27種類のトンボが確認されました。トンボ池の内、草が池の中に入り込んでいて、トンボが産卵しにくくなっている池内の除草と土砂の堀上環境整備を行います。

1. 対象 友の会会員 申し込み不要：当日センター前9時30分集合
2. 実施日 H23年5月14日（土）10時～12時 雨天の場合は5月21日（土）
3. 整備する場所 「アキアカネの広場」のトンボ池
（午後は、チョウ・トンボの調査活動を行いますので、どうぞご参加ください）
4. 持ち物 汚れても良い服装・帽子・飲み物・軍手・弁当（午後の調査に参加される人）

担当：カワセミファンクラブ

●野鳥・チョウ・トンボの写真展の開催について●

今年も、モニタリング1000のチョウの調査（51種類確認）や、トンボの調査（27種類確認）・横浜市民協働生き物調査における鳥類調査を実施しました。その結果、横浜自然観察の森の自然の豊かさを象徴するように、多くの生き物たちに出逢うことが出来ました。今回写真撮影のできた野鳥・チョウ・トンボの写真展示をいたしますので、来園の際には、是非センター談話室コーナーを覗いてみて下さい。

1. 展示場所 センター談話室コーナー
2. 展示期間 自：平成23年3月27日（日）～至：平成23年5月8日（日）

担当：カワセミファンクラブ

●定点カメラで動物調査●

「定点カメラで動物調査」は、5月のカメラの設置から始まります。カメラは、毎月・毎年の状況が比較できるように、いつも同じ場所に設置します。そこは、人から姿を見られないで、安心して動物たちが通れる「けもの道」です。動物気分で、けもの道を歩く体験してみませんか？

初回の5月だけは連休中の5月4日10時～12時（雨天の場合は5日に延期）に行います。6月から12月は第2土曜日に行いますが、雨天等の場合は日程を変更しますので、センターに確認してください。持ち物：水筒・タオル。少しでもやぶに入りますので、汚れても良い長袖、長ズボン、動きやすい靴、帽子もあった方が汚れません。（担当：事務局）



YINLS News 4

YOKOHAMA NATURE SANCTUARY

横浜自然観察の森・自然観察センターだより

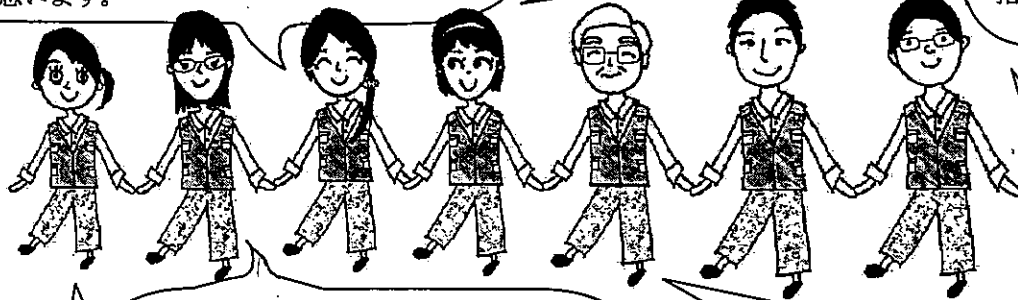
2011年 4月号

よこはまレンジャーズ2011☆☆☆

ボランティアコーディネーター主担当
センター改修関連担当
みどりアップ人材育成担当
渡辺 初恵
事務局、鳥のくらし発見隊副担当
今年も皆様と一緒に活動を盛り上げていきたいと思ひます。

チーフ 全体統括
尾崎 理恵
ハンミョウの会担当
森の絵本づくりの会副担当
今年もチームワークでのり
ぎります。皆様応援よろしく
お願いいたします。

環境調査主担当
石鍋 慎也
雑木林ファンクラブ、モニタ
リング1000（定点カメラ、
カエル卵塊調査隊）担当
環境調査、を通して人も生き
ものも利用しやすい森を目
指します。



環境調査副担当
瀧本 宏昭
来園者の方々に、自然を好きになって
もらえるようなきっかけを
つくってあげたいと思ひます。

環境教育主担当
大久保 香苗
森の絵本作りの会、カワセミファン
クラブ、PJ-STRIX、自然とあそぼう担
当。引きつづき楽しいゴロ報センター紙面
を作っていきたいと思ひます！

環境管理主担当
宮武 正則
来園者の安全管理に、生きもの
たちの環境管理に今年度も取
組みます。

絵：みしま
さやみ

環境教育副担当
鳥のくらし発見隊担当、
雑木林ファンクラブ、ハンミョウの会副担当

新 三島 沙椰実 (みしま さやみ)

この春日本大学を卒業し、インターンレンジャーとしてお世話になることになりました、三島沙椰実と申します。自宅は川崎市にあり、初めて横浜自然観察の森を訪れたときは、同じ神奈川県にこんなに豊かな自然があったんだ！と、とても驚きました。大学では、森林資源科に所属し森林や木材に関することから建築のことなど、広く浅く様々なことを勉強してきました。大好きな自然に囲まれてお仕事ができることに幸せを感じ、すごくワクワクしています。わからないことばかりでいろいろと教えて頂くことになると思ひますが、一生懸命学び、吸収して大きく成長していきたいと思ひております。よろしくお願ひ致します。

お世話になりました

柴田 英美 (しばた えみ)

この度、体調の関係により、今年度からは不定期な形で関わることとなりました。観察の森で過ごした5年間で、友の会の皆さまから、自然に関する知識だけではなく、自然との接し方や考え方など、様々なことを学びました。また、観察の森や自然を愛する皆さまと語り合う時間は本当に楽しいひと時でした。私情により、皆さまお一人お一人にご挨拶できなかったこと、大変申し訳なく思うと共に、自身にとって心残りではありません。ただ、今後も森に伺う機会がありますので、その時にお会いできた際にはまた楽しくお話できればと願ひております。これからも皆さまのご活躍をお祈りしております。

いきもののにぎわいコラム

栄区民センターで開催された「円海山域の昆虫展と講演～生物多様性と環境～」に行ってきましたのでご報告します。

講演「生物多様性の大切さ」

新堀豊彦氏（神奈川自然保護協会理事長）

高桑正敏氏（県立生命の星・地球博物館学芸員）

新堀氏による、環境問題や生物多様性保全について総論的なお話の後、高桑氏から具体的に生物多様性とは何か、神奈川県を例にとりてご講演いただきました。神奈川県は山地から海岸線まで地形が多様であること、分布の南限や東限にあたる種が多くいること、などが特徴として挙げられました。横浜にも鶴見川流域に「ヨコハマナガゴミムシ」という固有種の昆虫がいるそうです。

講演「円海山域の昆虫と環境」

久保浩一氏（横浜栄高校教諭）

瀬上地域を中心に30年以上円海山域の昆虫の観察や調査をされている話者から、昆虫相の変化や開発の影響、フィールドでの発見をお話いただきました。約30年前の横浜・横須賀道路の開通と同時にオオムラサキが姿を消してしまったこと、今では当たり前に見られるクロコノマチョウを90年代は、夢中で探しに出かけたことなど、継続的な活動から見える生きものたちの動きを興味深く聞きました。円海山域のうちでも観察の森は特に、昆虫相が維持されているとのことでした。


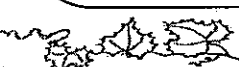
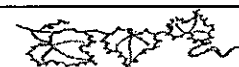
久保氏をはじめこの緑地で長く活動されている方の活躍を、センターがもっと発信していくことが重要と、考えさせられる2つの講演会でした。

（大久保香苗）

以下の報告書がセンターに入りましたので、

興味のある方はぜひご覧下さい。

- ◆「40haの昆虫調査—1年間の調査が語るもの—」
上郷開発関連区域 昆虫調査報告書（1993年）
- ◆「昆虫展記念 円海山域の昆虫～昆虫と環境～」
（2011年）いずれも 円海山域自然調査会発行

 ホランペン ありがとう  

2/19 雑木林ファンクラブのみなさま 行事用の丸太の提供

2/19 藤田さん（事務局） 環境調査の資料の提供

2/27 東さん 棚上げ作業への協力

3/18 藤田さん（事務局） 保安全管理に関する相談

2/13、3/13、4/10 鳥のくらし発見隊のみなさま にぎわいの谷の鳥類相調査への協力



横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

◆◆自然観察センター改修のお知らせ◆◆

横浜自然観察の森は今年度、開園 25 周年目を迎え、機能更新や向上を目指し、自然観察センターの改修工事を行なうこととなりました。

工事内容は、主には老朽化に伴う設備の改修やトイレのバリアフリー化、利用人数や頻度が多い「研修室」の増築、および「友の会の活動拠点となる施設」の建築が中心となります。

現在の自然観察センターは7月末に閉館し、来年春のリニューアルオープンを目指し、改修工事の準備をしていきます。改修中は「モンキチョウの広場」に仮設の観察センターを設置します。小規模となりますが、引き続き自然情報などの展示も行っています。友の会の皆様には、活動にご不便をお掛けすることとなり大変申し訳ございませんが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。工事の詳細なスケジュール等については、決まり次第随時ご連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

＜地震後のご報告＞

東日本大震災で被災された皆様に
心よりお見舞い申し上げます。

3月11日の地震発生時、センターは開館していましたが、来園者、レンジャーともに無事で、施設と園内にも大きな被害はありませんでした。しばらくひっそりとしていた森ですが、本格的に春を迎えて、来園者も例年通りに増えてきたようです。

現在、東京電力による計画停電の予定はありませんが、再開された場合、センターでは停電のほか水道やトイレが使用できなくなります。野外トイレ2ヶ所も同様です。観察の森は第1-Eグループです。また、ログハウスは安全確保のため使用を中止しています。

ご迷惑おかけしますが、ご理解ご協力よろしくお願い致します。

行事スケジュール 4月～6月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

※今後、余震、計画停電等の影響により開催時期等変更が生じる可能性があります。事前に観察センターまでお問い合わせください。

●野鳥・チョウ・トンボの写真展

3/27(日)～5/8(日)
場所：観察センター談話室コーナー
担当：カワセミファンクラブ

→5ページ参照

●定点カメラで動物調査

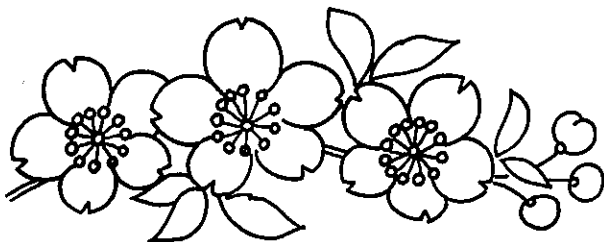
5/4(水・休、雨天翌日)・6/11(土)
10:00～12:00 小雨決行
12月までの毎月第2土曜(5月のみ日程注意)
対象：友の会会員
内容：5月：カメラ設置・6月：フィルム交換
持ち物：水筒・汚れても良い白っぽい服・歩きやすい靴・タオル・帽子・虫除け(少し藪に入ります)。着替えもできます。
担当：事務局

→5ページ参照

●トンボ池の整備

5/14(土) 10:00～12:00
雨天の場合は5/21(土)
対象：友の会会員
受付：当日、観察センター前9時30分集合
持ち物：汚れても良い服装・帽子・飲み物・軍手・弁当(午後の調査に参加される人)
担当：カワセミファンクラブ

→5ページ参照



■にぎわいの森を歩くバードウォッチング

5/8(日) 9:00～13:00
雨天時は室内でスライドと鳥のお話し。
対象：どなたでも。定員なし。
申込：不要。当日、観察センター前へ

●定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会の目的や活動内容の紹介とルールを～
4/17(日) 9:30～12:30
受付：直接観察センター研修室へ 雨天催行
対象：どなたでも
*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
5/1(日)・6/5(日)
1回目 11:00～ 2回目 13:00～
受付：30分前から 直接観察センター前へ
対象：どなたでも
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～
6/12(日)
9:00～13:00 雨天中止
受付：直接観察センター前へ 対象：どなたでも
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～自然をテーマにした絵本づくり～
4/20(水)・5/18(水)・6/15(水)
10:00～12:00 絵本製作
受付：直接センター研修室へ 対象：どなたでも
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～
4/23(土)・5/28(土)・6/25(土)
1回目 13:00～ 2回目 14:00～
受付：30分前から 直接観察センター前へ
対象：子どもから大人までどなたでも
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2011年4月17日
発行 〒247-0013
横浜市栄区上郷町 1562-1
横浜自然観察の森友の会
電話 045-894-7474 FAX 045-894-8892
郵便振替 00240-1-59172
年会費 大人 2000円 小中学生 600円
http://www.geocities.jp/yns_tomo/
E-mail: yns_jimu@yahoo.co.jp

【この会報は、友の会ボランティアによって作られています】

《全頁無断転載を禁じます》

次回：原稿締切5/21(土)、発送6/19(日) (担当：事務局)